

NEWSLETTER

No.78

28 May 2021

・教員の研究室と電話番号・メールアドレス	1
・活躍する卒業生 (10)	2
・2021 年度教員在室時間表	4

【教員の研究室と電話番号・メールアドレス】

※地理・環境専攻(コース)専任教員は全員世田谷キャンパス(世田谷・梅ヶ丘校舎)にいます

	研究室の場所	研究室電話番号	電子メールアドレス
長谷川	世田谷校舎 10 号館 2F1003 研究室	03-5481-5247	hasegawa@kokushikan.ac.jp
岡 島	世田谷校舎 10 号館 2F1002 研究室	03-5481-3245	okajima@kokushikan.ac.jp
佐々木	世田谷校舎 10 号館 2F1004 研究室	03-5481-3246	akihikos@kokushikan.ac.jp
桐 越	世田谷校舎 10 号館 2F1001 研究室	03-5481-5278	kirikoshi@kokushikan.ac.jp
内 田	世田谷校舎 10 号館 4F1025 研究室	03-5481-5291	uchida@kokushikan.ac.jp
磯 谷	梅ヶ丘校舎 34 号館 8F 824 研究室	03-5451-8154	isogai@kokushikan.ac.jp
加 藤	梅ヶ丘校舎 34 号館 9F 904 研究室	03-5451-8164	k2kato@kokushikan.ac.jp

※教員が大学に在学予定の時間等は、以下のページの教員在室時間表を参照してください。オフィスアワーは、基本的に先生が研究室にて、学生の質問等に答える時間です。

※オフィスアワー以外の面会・相談なども在室中に短い時間で済む用事であれば、大抵の先生は急用がない限りは応えてくれます。ただし、基本的には相談や面接等は、事前にアポイントメント (Appointment ; アポ) をとってからするようにしてください。オフィスアワーであっても、出張等で不在の場合や、他の相談者などがいるため時間が割けない場合もありますので、事前にアポを取る方がお互いに好都合です。大学生としての自覚をもった行動を心掛けましょう。

※したがって、教員の自宅、特に非常勤講師の先生宅への電話は、先生からの指示がない限りは控えてください。

※メールを活用しましょう。多くの先生が電話よりもメールでのアポの方が好都合です。ただし、教員のメールアドレスは携帯電話のものではありませんので、すぐ返信がくるとは限りません。余裕をもった連絡を心掛けてください。アポの際には、メールの標題に、学籍番号・氏名を明記してください。先生によっては、標題に番号・名前がないとメールを消してしまう場合があります (迷惑メール・ウィルスメール対策のため)。用件が必ずしも標題になくても大丈夫です。「こんにちは」といった標題のメールは即刻消される場合があるので注意してください。

【 活躍する卒業生(10) 】

シリーズ「活躍する卒業生」の第10回目です。今回は、1999年度に本学の地理学専攻(当時)を卒業された岡田 登さんです。岡田さんは、立正大学の大学院を修了された後、群馬県太田市役所の職員を経て、現在は鹿児島県立短期大学の教員として活躍されています。コロナ禍対応等でお忙しいにもかかわらず、原稿を作成していただくことができました。

--*--

フィールドワークを仕事にする ―自治体職員から大学教員へ―

岡田 登 (鹿児島県立短期大学商経学科経済専攻 准教授)

私は2000年3月に史学地理学科地理学専攻(長島ゼミ)を卒業し、立正大学地球環境科学研究科の修士課程、博士課程を経て、2007年3月に博士(地理学)を取得しました。2007年4月から群馬県の太田市役所に入職し、2016年4月からは鹿児島県立短期大学商経学科経済専攻の教員として勤務しています。ここでは地理学を学んだことを各職場でどのように活かしてきたのかをお話します。

1. 自治体職員としての業務

太田市役所には公務員試験を受けて一般事務職として入職し、農村整備課、道路建設課、都市計画課で各種事業を担当しました。農村整備課は農村部において土地改良事業として水路や農道、水門などの農業インフラを整備し、地域住民や水利組合と協力して農業施設を管理します。これらの業務では農地や農業水系の調査、受益農家や土地改良区への聞き取り調査等を行ないます。道路建設課と都市計画課は道路網の整備を計画し、都市計画道路を建設します。この業務では交通量調査や地盤調査、農業水系調査、雨水等の排水量調査、測量調査、関係機関への聞き取り調査、地権者との用地交渉、工事設計業務等を行ないます。すなわち、自治体職員としての業務では、地域を調査してデータを取得し、それを整理することで地域を理解する力が求められました。また、この経験から政策的または実務的に有用な研究の必要性を感じ、研究に対する姿勢が変わりました。



写真1
鹿児島県指宿市の野菜産地 キャベツの収穫

2. 大学教員としての業務

私の専門は農業地理学です。特に野菜産地に関する研究をしています。野菜生産は集約的な農業形態の一つであり、高い農業産出額を生み出します。このため野菜産地では生産者や組織の動きが活発です。最近では農家が設立した野菜生産法人について研究しています(写真1)。市役所の仕事をしながらも農業地理学の研究を継続していたこと

もあり、鹿児島県立短期大学に地域経済論の専任講師として着任しました。講義は地域経済論、地域産業政策、農業経済論、鹿児島学等を担当しています。県立短大には一部（昼間）だけでなく二部（夜間）もあります。四年制大学と同様にゼミもあり、一部（昼間）の学生は1年生の後期から2年生の後期までの1年半ゼミに所属して卒業論文を作成します。私のゼミでは地理学をベースに地域活性化や地域づくりをテーマにしているため、自治体などの公務員を志望する学生が多く所属する傾向にあります。地理学科とは異なってフィールドワークの科目がありませんので、ゼミでは希望者だけで指宿市での観光業調査や日置市美山地区でのまちづくり調査を実施しました。しかし、短期大学の場合は入学して1年後には就職活動等が始まるので、四年制大学とは異なってフィールドワークを十分に行なう時間がありません。このため最近では実務経験を活かして、学生と共に実践的な活動を進めています。具体的に学生はファーマーズマーケットやマルシェの運営、地元商店街とのフリーペーパー作成、鹿児島市の若者まちづくり会議などに携わってきました（写真2）。



写真2 学生によるマルシェ運営

3. フィールドワークを仕事にする

私は地理学で学んだフィールドワークを基礎として、それを仕事にしてきました。この過程には、目的設定、仮説設定、調査計画、地域選定、資料収集、ヒヤリング調査、データ分析、考察、仮説検証、課題整理等があり、実務的には事業実施、効果検証等が加わります。とくに、対面でのヒヤリング調査の技術を高めることを意識し、今でも調査の度に調査方法を改善しています。

フィールドワークの魅力は学部時代に長島弘道先生（国士舘大学名誉教授）からご教示いただきました。長島ゼミでは、各自が事前に調査計画を立て、現地で自由に調査を進めます。言い換えると、各自が主体的に動かないと何も進みません。この経験から自分で計画して調査することが新たな知見に繋がることを学び、その魅力から研究者を志しました。今後、在学生の皆さんがフィールドから深い学びを得て、社会で活躍することを期待しております。

【2021年度 教員在室時間表】

曜日	時限 時間	1	2	昼休み	3	4	5	6
		9:00-10:30	10:45-12:15		12:55-14:25	14:40-16:10	16:25-17:55	18:10-19:40
月	長谷川				春のみ			
	岡島							
	磯谷				春のみ			
	加藤	春のみ						
	佐々木							
	桐越				秋のみ			
火	長谷川				会議	会議	会議	
	内田						春のみ	
	岡島						春のみ	
	磯谷		町田 校舎		移動等		春のみ	
	加藤					秋のみ		
	佐々木							
	桐越							
水	長谷川				会議	会議	会議	
	岡島		秋のみ					
	磯谷							
	加藤							
	佐々木					春のみ		
	桐越							
木	長谷川							
	内田	春のみ				秋のみ		
	磯谷							
	加藤							
	佐々木							
	桐越							
金	長谷川							
	内田							
	岡島							
	磯谷							
	加藤							
	佐々木							
	桐越							
土	内田							
凡例		授業	オフィスアワー		在室している場合が多い		その他	

※春のみ：春期のみ講義。 ※秋のみ：秋期のみ講義。

※金曜日は文学部関係の会議が集中する日です。会議のある先生は大学にいますが、ほとんど会えない場合もありますので、注意してください。第3または第4金曜日には**教室会議**（12：00～）・**教授会**（13：30～）があり、教員全員が会議に出るので、その日の午後はほぼ会うことができません。教授会の日程は年間予定表を参照してください。

※加藤先生：水曜日は秋期のみ午前中他大学で授業あり（春期は2限から在室の場合が多い）です。